



いつもお世話になっております。WebCraft AI の加藤です。

暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。今月から、中小企業の現場で使えるAIの話題と、私自身が試して分かったことを月に一度お届けすることにしました。3分ほどで読み終わる分量にしていますので、お茶でも飲みながらご覧ください。

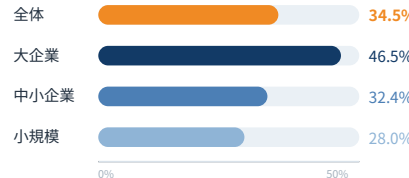
今月の数字 中小企業の3社に1社が、AIを使い始めています

帝国データバンクが全国2万3千社あまりを対象に行った調査で、生成AIを業務で「活用している」と答えた企業は**全体の34.5%**でした。中小企業に限っても32.4%、小規模企業で28.0%です。

一方、東京商工リサーチの調査では「組織として活用を推進している」割合が大企業59.1%に対し中小企業は30%前後。**個人が試す段階から、会社として使う段階へ**——この移行の速さに差が出始めているようです。

とはいえ、慌てて何かを導入する必要はないと考えています。まずは「自社のどの作業が重たいか」を書き出すところから十分です。

生成AIを業務で活用している企業の割合



出典:帝国データバンク「生成AIに関する企業の動向調査」
(2026年3月調査・同年5月公表)

今すぐ使える一手

会議のメモを、3分で整理する

 打ち合わせのメモをAIに貼り付けて、下の指示を添えるだけです。手書きメモを書き起こしたもので構いません。

▼ そのままコピーして使えます

以下の会議メモから、**①決まったこと ②未決の事項 ③誰がいつまでに何をするか**、の3つに分けて箇条書きにしてください。書かれていないことは推測せず「記載なし」としてください。

最後の一文がポイントです。これを入れておかないと、AIが気を利かせて話を補ってしまふことがあります。

よくいただく質問

Q. AIを触ったことのない社員でも大丈夫でしょうか？

A. はい、むしろそういう方が多数です。これまで同席した研修でも、受講された方の大半が「ChatGPTの名前は知っているが使ったことはない」という状態からのスタートでした。**大事なのは操作の上手さではなく、自社の困りごとを説明できることです。**その点、業務に精通した方ほど飲み込みが早い、というのが率直な実感です。

AI活用の実例

関数を知らないまま、営業管理表を作りました

先月、自社の営業先を管理する表を作りました。とはいえ私はExcelの集計関数が分かりません。そこでAIに**「何を管理したいか」だけを言葉で伝えた**ところ、入力欄も自動集計も入った表が出来てきました。



- 伝えたのは「何を管理したいか」だけ
- 関数もマクロも、こちらの知識は不要でした
- 進捗が自動で集計される画面つき
- かかった時間は**1時間ほど**、費用はゼロ

※出てきたものをそのまま使わず、一度は中身を自分で確かめることをおすすめします。ここを省くと、間違いに気づかないまま使い続けることになってま

お知らせ

DXリーダー研修〈初級編〉 10月・11月の開催枠をご案内中です

社内の有志3〜4名から受講いただける、実務直結型のプログラムです。これまで運送・飲食・冠婚葬祭など、幅広い業種の企業様にご導入いただいています。

3名まで60万円(4名目以降は1名につき+5万円)

助成金の対象となる場合があります



現場から一言——先日、研修に同席する機会がありました。受講されていたのは各社の社長から選ばれた方々で、自社の業務を知り尽くしている分、「この作業をAIに任せられないか」という視点がとても具体的で驚かされました。ツールの知識よりも、**自社の困りごとを言葉にできること**のほうが先なのだな、と改めて感じた一日でした。



編集後記——実は本紙、文章の下書きから図版・レイアウトまで生成AIで制作し、PDF版・ホームページ版とも内製しています。以前は外注していた作業が、いまは1号あたり1時間ほど、**制作費はほぼゼロ**に(数字は一次情報を確認済みです)。まず自分の仕事で試す——研修でお伝えしているのも、結局そこに尽きます。

WebCraft AI(ウェブクラフトAI) 加藤 俊一

DXリーダー研修事務局担当 / Web・クラウドサーバ営業担当

<https://www.ki-zu-na.jp/> | note: note.com/web_craft_ai

※本紙の配信が不要な場合は、お手数ですがその旨ご返信ください。すぐに配信を停止いたします。

お気軽にご相談ください

「うちの場合はどうだろう」という段階のご相談も歓迎です。このメールにご返信いただければ、個別にお答えします。